



大町市キャラクター
おおまびよん

／ お互いさまのまちづくり

第177号
平成27年8月1日

社協 おおまち

カラオケボックスで 地域の集い



「思いっきり歌うのはストレス解消になる」と話したのは、最高齢の参加者、92歳の松島智之さん。

小地域福祉ネットワーク十日町つくしの会では、町内カラオケ教室がなくなった22年から、公民館でカラオケサロンがスタート。24年からは、カラオケボックスの「ジャックと豆の木」(五日町)に会場を移し現在に至ります。

月2回の開催で、費用は参加者の割り勘。飲み物やお菓子を注文して、昔話などに花を咲かせながらカラオケを楽しんでいます。「楽しみで毎回心待ちにしている」との参加者の声に、まとめ役の仁科さんは「一人暮らしの人もいて、みんな楽しみにしている。できる限り続けていきたい」。カラオケサロンは、健康と地域のつながりをつくる一石二鳥の集い。地域の集いにルールはありません。皆さんの地域ではどんな集いがありますか。

(写真=「十日町 つくしの会」 7/17 ジャックと豆の木)

主な内容

- ◆H26年度事業と決算報告…………… 2～3ページ
- ◆報告！小地域福祉ネットワーク研修会…………… 4～5ページ
- ◆社協「特別会費」のお願い…………… 6ページ
- ◆社協の相談事業…………… 7ページ
- ◆お知らせ 保育サポーター講座ほか…………… 8ページ